

あさくち

議会だより

NO 57

令和5年 2023

5月1日発行



あさくち議会

検索

CONTENTS

P2/3月定例会

P6/委員会レポート

P9/市政を問う!一般質問

いきいきと活躍する
あさくちの子どもたち!



鴨方ソフトボールSP

毎週土曜と日曜に練習しています。いつでも見学OKです!



第47回
山陽新聞桃太郎賞
受賞

ボーイスカウト浅口第2団

野外活動、環境美化、奉仕活動を行っています!

あさくちスポーツクラブ
遊ぶところ雪合戦



大人から子どもまでみんなで楽しく雪合戦!



あさくちスポーツクラブ
遊ぶところダンス

小学校体育館や公民館でも練習しています♪

令和5年度の予算が決まりました

一般会計の総額は

146億8,400万円

対前年度比
5.5%増

令和5年度は **2つ** のテーマに重点を

1 防災減災対策



火災・救急・救助への備え

常備消防業務として、笠岡地区消防組合と倉敷市消防局が住民の生命、財産を保護するため日夜を問わず活動中。

5億5,791万円

災害対策

屋外スピーカーを利用した避難情報等の緊急放送や防災アプリの導入、ため池ハザードマップの作成、その他、公共施設の災害対策事業など、災害に強いまちづくりを推進する。

4億803万円

2 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進



市のホームページ リニューアルに向けて

知りたい情報にアクセスしやすいデザインへ変更し、市の魅力発信を。市民からの問合せに自動で応答する「AIチャットボット」システムも導入する。

1,753万円

会議のペーパーレス化へ

市職員(管理職)のパソコンをタブレット端末へ更新することで、会議で使用する資料等の印刷物を大幅に減らし、環境保護や業務の効率化を推進する。

1,000万円

議会が注目する

『新規・主要・拡充』事業



新規事業

第3子以降の学校給食費を半額免除

小・中学校に在籍する第3子以降の子の学校給食費を半額免除することにより、多子世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図る。

1,118万円

立地適正化計画策定アンケート調査を実施

都市計画や土地利用の制度設計など、さまざまな施策や規制をまとめ、安全安心に暮らせる土地利用の実現に向けて、まずは計画策定に向けた基礎調査、アンケート調査を実施。

571万円

遙照山総合公園の再整備に向けて

遙照山周辺活性化のための再整備計画策定にあたり、現状把握と事業構想の立案、実現可能性等の調査を実施。



300万円

主要事業

教育現場で進むデジタル化やICT活用

電子黒板の設置、ICT支援員の採用など、時代に沿った学習環境で、小・中学校の児童・生徒の学力向上と更なる成長をサポート。

1,907万円

子ども医療費助成の対象年齢を18歳までに拡大

満18歳までの子どもの医療費の自己負担分を支給し、子どもの健康増進と家庭の経済的負担軽減を図る。

1億5,748万円

有害鳥獣から農作物を守る

有害鳥獣の駆除や捕獲檻の貸出し、防護柵設置補助等を行い、農作物被害、人的被害の防止を図る。

1,399万円

拡充事業

ふるさと納税を市の収入源に

市の発展のために寄附していただける方を広く募集して、歳入の確保や特産品のPRにつなげる。

1億7,500万円
(寄附金見込額)

魅力発信で地域おこしを

地域おこし協力隊員を新たに募集。地域の課題解決や観光資源の活用で、地域の活性化に期待。



946万円

1億2,094万円

の増額補正予算を可決

一般会計の総額は160億1,868万円 (前年同期比3.7%減)

歳出の主なもの

有害鳥獣駆除事業



イノシシ等の有害鳥獣による農作物被害の防止を図るため、駆除や捕獲檻の貸出し等を行う



455万円

基金積立金

特定目的基金へ積み増しを行う

4億43万円

- 社会体育施設整備基金 1億円
- 文化振興基金 1億円
- 学校施設等整備基金 2億円
- 森林環境譲与税基金 43万円

「基金」とはあらかじめ準備しておく資金のこと!



もっと詳しく!

令和3年度末の基金額と推移

財政調整基金 59億824万円

財政調整基金とは?
経済情勢の変動や災害により生じた経費、著しい減収等により不足する財源を補うために設置

減債基金 3億6,932万円

減債基金とは?
市債(公共事業などの資金調達のために市が行う借金)を計画的に返済するために設置

基金額の推移

	財政調整基金	減債基金	その他 特定目的基金
H30年度末	6,447	136	3,364
R元年度末	6,136	136	3,436
R2年度末	6,013	136	3,613
R3年度末	5,908	369	3,813

単位:百万円

例えば...

その他特定目的基金

学校施設等整備基金
3億7,167万円

まちづくり基金
5億5,889万円

社会体育施設整備基金
3億6,136万円

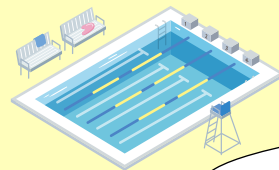
校舎や教室の整備・改修に



コミュニティの推進に



体育館、プールなどの整備・改修に



各議員の判断はいかに!?

議案審議

定例会

委員会レポート

市政を問う！
一般質問



参加議員

妹尾 斎藤 竹本 早苗 沖原 山下 石井 藤井 伊藤 佐藤 加藤 桑野 藤澤 大西 香取 井上
義信 貴士 寛 ネ 有美 周吾 由紀子 立子 誠(議長) 正人 淳二 和夫 健夫 恒良 邦男



賛否が分かれた案

陳情第4号

監査委員の意見を
議会として
適切に行動することに
ついての陳情

採択

※議長は採決に加わりません。



賛成 大西、藤澤、桑野、加藤、佐藤、藤井、石井、山下、沖原、早苗、斎藤、妹尾

反対 井上、香取、竹本



**賛成
討論**
加藤 淳二 議員

政務活動費に関する住民監査請求以後、その用途について議員間で検討されていない。
政務活動費の透明性を求めることについては、地方自治法及び浅口市政務活動費の交付に関する条例で規定されている。市民に疑惑を持たれないように努めなければならない、この陳情を採択して、政務活動費の適切な使用について、議員間で検討すべき。

全員が賛成した案

承認	専決処分した事件の承認 (和解及び損害賠償額の決定)
同意	教育委員会委員の任命同意
条例	市議会の個人情報の保護に関する条例の制定
	個人情報の保護に関する法律施行条例の制定
	情報公開条例の一部改正
	行政不服等審査会条例の一部改正
	憩いの広場条例の一部改正
	附属機関設置条例の一部改正
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
	特別会計条例の一部改正
	市立保育所条例等の一部改正
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	国民健康保険条例の一部改正
	道路占用料徴収条例の一部改正
給水条例の一部改正	

補正予算	令和4年度一般会計補正予算(第9号)
	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
	令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	令和4年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)
	令和4年度介護保険特別会計補正予算(第4号)
	令和4年度畑地かんがい給水事業特別会計補正予算(第2号)
当初予算	令和4年度益坂財産区特別会計補正予算(第1号)
	令和4年度下水道事業会計補正予算(第4号)
	令和5年度一般会計予算
	令和5年度国民健康保険特別会計予算
	令和5年度後期高齢者医療特別会計予算
	令和5年度介護保険特別会計予算
	令和5年度畑地かんがい給水事業特別会計予算
	令和5年度益坂財産区特別会計予算
	令和5年度工業団地開発事業特別会計予算
	令和5年度水道事業会計予算
その他	令和5年度下水道事業会計予算
	市道路線の認定
	市道路線の変更
諮問	過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更
	人権擁護委員の推薦意見

「義務教育学校」設置の要望書 寄島中学校区で施設一体型の小中一貫校を

令和5年1月18日、「寄島地区の教育を考える会」から、市長、教育長に対し、義務教育学校の設置に関する要望書が提出された。
今後は地域や教員の意見を聞きながら検討する。

Q 今までの小中一貫教育との違いは。

A 寄島中学校区では、以前より園・小・中の連携教育を推進している。小・中学校の教員が地域学である「よりしま学」を中心とした9年間のカリキュラムを作成しており、これまでも連携した交流活動や校種間の乗り入れ授業などを行ってきた。要望のあった「義務教育学校」は小中一貫教育をより推進していく施設一体型の新しい学校の形。中一ギャップの解消、異学年交流の促進による**集団性の育成**や**自己肯定感の向上**が期待できる。
(2月1日開催)

浅口市ホームページが リニューアル

市民が求める情報にアクセスしやすいデザインに変更し、魅力発信につなげるほか、自動応答できるAIチャットボットを導入する。

Q AIチャットボットとはどのようなものか。

A 市への問い合わせに**24時間365日**対応。件数が増えれば**自動で学習**し、いろいろな問い合わせに対応できるようになる。

保育の充実を

Q 待機児童、保留児童の状況は。また、保育士は足りているのか。

A 0歳から2歳児保育の要望が増え保育士の確保が必要になっているが、保留児童は34人いるが、保育士の確保ができればさらに受け入れ可能な園も

ある。ホームページの広告募集の一部補助延長。年2回の就職フェアなどを実施し確保に努めている。

Q 鴨方東小学校放課後児童クラブの新築により、受け入れの状況は。また、指導員は足りているのか。

A 令和5年度59人の申し込みがあり増えている。金光小学校児童クラブは、申し込みが多く受け入れられない状況があった。他の児童クラブも追加の受け入れは難しいとのことである。

(3月17日開催)



寄島小学校



鴨方東小学校放課後児童クラブ

総務文教

委員長	藤井 立子
副委員長	妹尾 義信
委員	沖原 有美
	石井由紀子
	伊澤 誠
	加藤 淳二



「面談」と「経済的支援」で 出産から子育てを徹底サポート

令和4年12月定例会で予算化された「出産・子育て応援事業」で、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てできる環境を整備。

伴走型相談支援

◆対象者
妊婦及び出生した子どもを養育している人

◆内容
保健師によるこまめな面談と、妊産婦の体調や子育て環境に関するアンケートで、その人に応じた支援につなげていく

出産・子育て応援ギフト

◆対象者
令和4年4月1日以降、妊娠を届け出た妊婦及び出生した子どもを養育している人

◆内容
妊婦に5万円相当、出生した子ども

も一人につき5万円相当の経済的支援(当面は現金給付)を行う
(2月2日開催)

出産育児一時金を増額 支給総額50万円に

健康保険法施行令等の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給総額が現行の42万円から50万円に引き上げられるため、関係条例を改正する。
出産時の経済的負担軽減により、少子化対策、子育て支援策として期待される。



助かるね!



引き続き

「ごみの減量に向けた 取組を

ごみの収集運搬・処理に係る費用を抑えるため、資源回収推進団体報奨金や生ごみ処理機購入補助金を交付し、ごみの減量化を推進する。

令和5年度は、5年に1度の取組みとして、ごみステーションに出された家庭ごみの内容を調査・分析し、ごみの減量化・リサイクル率向上への施策につなげる、廃棄物組成調査を行う。

「子ども福祉関連の窓口を 一本化

組織再編により、令和5年度より健康子ども福祉課が創設される。
妊娠・出産支援と児童福祉関連の相談窓口を統一し、切れ目のない寄り添った支援体制をとる。

(3月16日開催)

民生

委員長	佐藤 正人
副委員長	桑野 和夫
委員	山下 周吾
	大西 恒夫
	井上 邦男



定例会

委員会レポート

市政を問う！
一般質問

寄島産レモンを特産品に 栽培実証実験が進む

寄島町鏡地区で新たな特産品の開発が進んでいる。

市は、畑地かんがい給水施設の利用促進や耕作放棄地の解消、そして新たな特産品開発を目的に平成30年から栽培実証実験に取組んでいる。

レモンは果肉、果汁、皮など、全ての部分を使うことから、農薬や防除剤が散布された輸入品よりも、より安心・安全な国産レモンを求める声が多い。

農業推進委員と地域農業者有志で「特産果樹研究会」を発足し、令和3年度末までに約500本の苗木を定植している。

今後の課題として、高収益化を図っていくためには、農協などへの系統出荷だけでなく、独自の販路開拓や加工品の研究が必要である。

(2月3日開催・現地視察)



中小企業者・ 新規創業者に支援を

地域経済を支える中小企業者を支援するため、販路の開拓やホームページの開設に要する費用に対し、対象経費の2分の1以内、上限10万円の補助金を交付する。

また、発展性をもって新たに創業者の事業には、土地・建物の取得や修繕等の事業所開設費用に対し、補助率2分の1、上限50万円の補助金を交付する。令和5年度からは「空き家を活用」して創業する場合には、補助額を上乗せし、100万円を上限とする。

工業団地(2期)整備は 民間活力を導入

令和4年12月頃から行っているサウンディング型市場調査により11事業者から、事業への関心の程度、採算性、役割分担や事業スキーム等の意見聴取を行った。結果として、民間事業者の資金を活用した開発が可能であるとの結論に至っている。

令和5年度は民間活力の導入による整備に向けて、公募条件の決定、事業者の選定を行っていく。

(3月20日開催)

民間事業者と協力するため
公募を行う予定です!



産業建設

委員長	香取 良勝
副委員長	藤澤 健
委員	斎藤 貴士
	竹本 寛
	早苗 ネネ



市政を問う！

一般質問

録画放送
配信中

3月定例会では、12人の議員が市の考えを聞きました。

質問者	質問項目
香取 良勝	○市職員の不祥事について ○カバンと制服について
斎藤 貴士	○小中一貫教育について ○防災対策について ○国道2号バイパスについて
佐藤 正人	○異次元の少子化対策について ○市内における観光案内(PR)看板について
竹本 寛	○寄島・鴨方駅間等、過疎地域におけるバス路線の拡充について
加藤 淳二	○保育所等における不適切な保育について ○公共施設の照明のLED化について
大西 恒夫	○市長の政治姿勢について ○空き家対策について ○水道について ○合併時に残された問題について ○合併特例債について ○姉妹都市・友好都市について ○子ども議会について
桑野 和夫	○災害対策について ○市民による草刈り等の作業への手数料等について ○公立中学校の運動部活動の地域移行について
妹尾 義信	○子どもたちの学習環境について ○市役所職員数について
沖原 有美	○市職員のハラスメント対策について ○寄島の豊かな海の資源を守るための支援について
石井由紀子	○災害時における外国人対応について ○こども基本法成立について ○市営駐輪場のさらなる利便性の向上について
山下 周吾	○浅口市の公共施設について
早苗 ネネ	○資源物のストックヤードについて ○第2次浅口市総合計画における資源・エネルギーの循環型社会の形成について



香取 良勝



市職員の不祥事について

問 市長になってから市職員の不祥事が続いている。こんな不祥事が続いているところはない。何件あるのか。

企財 令和元年7月に発覚した公金窃取事案、令和2年11月に発生した職員の飲酒運転事案、令和4年5月に懲戒処分を行った収賄事件の3件。

問 今後一切させないと言われたのに次々と出ている。3件より多い。市職員にどのような教育をしたのか。

企財 倫理観の向上や不祥事防止を目的としたコンプライアンス研修を定期的に実施し、不祥事が発生した場合などは研修を追加で実施している。

問 中国新聞や読売新聞で、私立保育園において園児に対し不適切な行為があったと報道されたが、うそではないのか。市としてどう対応したのか。

教育長 令和3年に市民から情報提供があり、園へ事実確認の調査を依頼し、改善を要請した。

カバンと制服について

問 以前も質問したが、金光町の小学校に導入している黄色のカバンを、なぜ市内の他の小学校にも導入しないのか。

教育長 新入学児童の保護者アンケートの結果で、鴨方・寄島地域では黄色いランドセルと同等分の補助を希望され、現在商品券を配布している。

問 市立中学校で統一デザインのカバンを導入する目的は。

教育次 防犯などの安全・安心の観点や性に関する多様性へのきめ細やかな対応等を考慮するため。

問 黄色のカバンは軽くて安く強い。なぜこれができないのか。中学校で制服を統一するのに、小学校のカバンは統一しない。子どもに同じようにするならば、きちっとしたことをやるべきではないか。

教育長 制服とカバンは経緯が違う。今後保護者の意見を聞いて対応していく。



齋藤 貴士



小中一貫教育について

問 令和5年4月からの小中一貫教育の指定で学校教育はどう変わるか。

教育次 義務教育9年間を基礎・基本の4年、習熟・接続の3年、充実・発展の2年と捉え、中学校区ごとに特色ある学びを深める。

問 「あい・かもがた学園」、「金光学舎」、「寄島学園」の名称決定の経緯は。

教育次 児童・生徒の意見を参考にしながら学校運営協議会・学校・保護者・地域の方々と構成で検討協議し、各中学校区で決定した。

問 寄島中学校区で検討中の義務教育学校とは。

教育長 施設一体型で、校長は一人。小学校と中学校の教職員が一つの組織となり、きめ細かい指導が可能となる。ハード、ソフト両面を検討して

準備するには2年程度必要と考えている。

防災対策について

問 防災スピーカー(防災行政無線の屋外拡声機)の運用開始と今後の予定は。

企財 寄島地域はアナログ方式からデジタル方式へ更新、3月中に整備完了。4月以降金光地域、鴨方地域で随時工事を開始し、令和5年度中に整備完了予定。Jアラートにも対応している。

国道2号バイパスについて

問 金光インターチェンジから笠岡東インターチェンジの間が令和7年度に供用開始予定。どう生かしていくか。

市長 バイパスの供用開始は沿線市町の利便性向上につながるのと期待。六条院西地区や寄島地区の皆様からは、インターチェンジの設置が地域の発展に寄与することに大きな期待が寄せられている。利便性の高さを生かした産業の集積が見込まれ、産業、流通系エリアとしての土地利用を考えている。



佐藤 正人



異次元の少子化対策について

問 岸田総理が2月に岡山県奈義町を視察された。同町の合計特殊出生率は2.95%。この率をどう思うか。市の近年の合計特殊出生率の推移は。

生環 一人の女性が一生の間に産む子供の数を表す合計特殊出生率。国や県が減少していく中で、市は上昇傾向にあり、令和元年で1.24%。奈義町はかなり高い数字である。

問 国も力を入れて行く伴走型相談支援事業に関連して、全国的に展開されつつあるリトルベビーハンドブックの内容と必要性は。

健福 リトルベビーハンドブックとは、早産などで小さく生まれた赤ちゃんの成長を記録できる手帳。現在の母子手帳では記録できない体重グラム未満の赤ちゃんにも対応し、ペー

同じ境遇の先輩ママや医師からの励ましも記載されており、保護者が不安を抱えることなく子育てできる。

問 市内のこども園・保育園の入園状況と待機児童の実態は。

教育次 0歳から2歳の保育ニーズが非常に高く、新たに小規模保育施設を整備したが、申込数の増加や保育士不足により希望園への入所が困難な状況となつている。待機児童は2人、保留児童は34人。

問 子育て世代や若者支援、働き方改革など、一体化、連動した取組が必要だと考えるが、少子化対策の展望は。

市長 園に入所できない問題に対処するため、新たな方法も模索するように指示。子育て支援や共働きしやすい環境づくりを進めていく。

市内における観光案内(PR)看板について

問 老朽化した観光看板は市のイメージが落ちる。対策を。

市長 ご指摘いただいたものを含め、必要な観光案内看板は適切に維持管理していきたい。



竹本 寛



寄島・鴨方駅間等、過疎地域におけるバス路線の拡充について

問 現在、路線バスやふれあい号が運行されているが、以前あった寄島鴨方線が今ないのはなぜか。

企財 井笠鉄道が平成24年度の撤退後に大幅な路線廃止を行い、その中に寄島鴨方の循環線があったと記憶している。

問 過去にも先輩議員が指摘したこともあるが、高校生が通学に困っている。中間テストや期末試験があり、昼に学校が終わると鴨方駅から歩いて帰るか、タクシーで帰るかしか方法がない。以前のように戻せないか。

企財 寄島鴨方間の循環線は、平均乗車人数が廃止となった年で3人、その前年が3.3人と利用の少ない赤字路線であった。問 確かに多いとは言えないが、寄島に住んでいる方が、利便性が悪いからと駅に近い所に出て行くことが、過疎化の一つの原因となつている。財源として過疎債があり、また特別交付税として国から8割の補助も出ている。地域住民の利便性向上、過疎化対策のために通勤通学に適した寄島鴨方路線を設定できないか。

市長 市民の移動手段の充実確保については浅口市全体のことと捉え、全ての地域ができるだけ公平になるように努めている。寄島鴨方駅間の路線設定は課題や影響を踏まえ、市域全体で公平なサービスの提供を検討する必要がある。

問 金光町、鴨方町にはJRの駅があり寄島町にはない。寄島在住の方々が、同じ市内にある駅を使いやすくなるような対策も、公平のうちの一つではないかと考える。

市長 地域全体を見渡した総合的な公共交通網の形成のためにも、公共交通課の設置も寄島鴨方駅路線の導入と併せてご検討いただきたい。問 今までどおり、しっかりと検討していきたい。



加藤 淳二



保育所等における 不適切な保育について

問 不適切な保育とはどういうものか。

教育次 子どもの人権、人格の尊重の観点に照らして改善を要すると判断される行為。

問 先日、新聞で報道された記事について認識しているか。また、どのように対応するのか。

教育次 新聞記事については認識しており、適切な対応をしている。一般的に不適切な保育が疑われる事案があった場合、園に対してすぐに調査依頼し、事実であれば改善するよう指導、助言を行う。

問 不適切な保育があった時の公表基準は。

教育次 行政処分である改善命令の場合は公表。文書指導や文書指示などの行政指導は非公表。

公共施設の照明のLED化 について

問 令和4年度の電気料金の実績と5年度の見込みは。

企財 公共施設全体では4年度は約2億9千万円、5年度は約3億8千万円の見込み。

問 浅口市第4期地球温暖化対策実行計画の現在の状況と検討内容は。

企財 令和5年から5か年の計画で、現在策定作業中。内容は省エネルギー対策や再生可能エネルギーの活用、省資源等の推進などを図るもの。LED化も計画に盛り込む。

問 令和5年度から創設される脱炭素化事業推進事業債は活用を考えているか。

企財 令和5年度は寄島総合支所の空調改修事業や公共施設のLED照明導入事業等に活用する予定。

問 今後の市の取組は。

市長 5年度の電気料金が値上りする。電力削減が図れ、温室効果ガス排出量削減に有効である照明のLED化を進めていく。



大西 恒夫



空き家対策について

問 市所有の大型建造物で、長期間空き家のものはどのくらいあるか。

企財 旧寄島公民館と旧金光町立吉備幼稚園がある。物価高で除却費用の高騰等もあり、対策方法、時期を含め引き続き検討する。寄島給食センターは倉庫として利用している。

問 天文台もある場所に廃棄物があつてはイメージが良くない。旧遙照山ホテル(かんぼの宿)を市で利用する考えは。

産建 平成28年1月に破産手続が終了。市を含め、法的に権限を有する所有者や管理者は存在しない状況であり、市自ら利活用する考えはない。

市長 何とか利用しようと努力したができなかった経緯がある。防犯対策等、市としてできることは対応していく。

合併特例債について

問 利用期限はあと3年。利用可能な特例債はいくら残っているか。また、使う予定は。

企財 発行可能額は約145億円。令和4年度までの利用額は約55億円であり、残りは約90億円。今後の見通しは、市道大島線拡幅工事や金光総合支所分庁舎の解体事業、旧給食調理場解体事業を計画している。

問 県内最悪の利用率。まちの発展のためのインフラ的整備を。

市長 特例債は合併市町村の新しい建設計画に基づく、公共施設整備事業等に要する経費に充てる地方債であり、借金。今後も重要な事業から優先的に行う。

子ども議会について

問 主催者教育実践の場として開催を改めて提案する。

教育長 子ども議会では各校の代表のみに限られるが、座談会は多くの児童・生徒が直接意見を届けることができる。社会の一員として主体的に未来の浅口市について考える機会になっている。今後も座談会を継続していきたい。



桑野 和夫



災害対策について

問 玉島にある昭和水門は里見川の水が流れ込むが、大雨の時には水がたまって災害が起きる可能性がある。

産建 県が実施した里見川水系の河川流下能力シミュレーション結果では、昭和水門は里見川の水位に大きな影響を及ぼしていないと報告を受けている。

問 水門付近にポンプを設置して強制的に放流する方法が有効ではないか。ポンプを設置する可能性はないのか。

産建 県の河川整備計画の策定に關係するものだと思うが、まだ結論が出ていない。

問 水門の正確な開閉管理は、里見川の水位に影響していると思う。県を含めて確認したことがあるか。

産建 県の管理する河川であり、県がしっかりやっているものと認識している。河川整備計画の策定については市からも要

望を伝えていく。

問 以前から質問しているが、現時点での市長の考えは。

市長 整備計画の概要が決まり、早く実施していただくよう、県へ強く要望していく。

市民による草刈り等の作業への手数料等について

問 市民による草刈り作業等への手数料が最低賃金をクリアしていない。

産建 雇用への対価に当たらない手数料という性質上、比較するものではない。

問 賃金から手数料に、いつ、なぜ変更したのか。

産建 平成23年度以降、手数料の名目で支出している。支出名称の適正化を図るため改めた。

公立中学校の部活動の地域移行について

問 公立中学校の部活動の地域移行について、市の考えは。

教育長 生徒の活動機会の保障、費用負担、移動手段などの保護者や生徒の負担を最小限にできるよう検討する必要があると考えている。



妹尾 義信



子どもたちの学習環境について

問 生徒・児童が学習するために、市や教育委員会が設置している場所はあるか。

教育次 金光・鴨方・畚島の各図書館に学習室がある。

問 学習室のことを知らないという学生もいる。より多くの利用を促す上でも、さらなる広報をしてはどうか。

教育次 図書館だより、広報誌でお知らせをしていきたい。

問 より多くの子どもたちに学ぶ場所や機会を提供するために、時には質問ができるような学習室を増やしてはどうか。

教育長 まずは学校での授業の充実が基本だと考えており、放課後の補習学習等を行い、学力格差が生じないように取組んでいる。子どもたちが主体的に学ぶことは大切であるため、社会教育の面からも今後検討していきたい。

市役所職員数について

問 現在の正規職員と会計年度任用職員の数。

企財 正規職員は再任用職員を含めて281人。会計年度任用職員は307人。

問 今後、デジタル戦略課の新設や新型コロナウイルス感染症の5類移行による行事の再開等により、職員の負担増加が予想される。職員を増員し、負担を減らすべきと考えるが。

企財 浅口市を持続的に運営していくため、今後必要に応じて見直しを行うとともに、職員が当たるべき業務に力を注げるよう取組みつつ、必要な職員数を確保していきたい。

問 基幹産業をサポートできる専門職員の採用等、浅口市の未来を創るための戦略的な職員増員の考えは。

市長 財政状況や業務の継続性等を考慮し、慎重に検討する必要がある。職員の育成を進め、必要な業務の遂行に全力で当たれるよう取組んでいきたい。



沖原 有美



市職員のハラスメント対策について

問 市はどのような対策を取っているのか。

企財 平成25年4月に、職場におけるハラスメントの防止対策に関する基本方針を策定。これに基づき、各種のハラスメント防止対策を講じている。相談窓口を総務課に設置することを規定し、体制整備に努め、係長以上を対象に2年に1回程度研修を実施している。

問 ハラスメントのアンケートを実施しては。

企財 策定から約10年が経過しており、妊娠や出産、育児、介護に関することも対象に加える必要があるため、内容を見直し、刷新することとしている。見直しの際には、現在の基本方針の策定時と同様に、市役所内におけるハラスメントの実態把握等を目的とした職員アンケートを実施する。

問 条例の必要性は。

企財 市では条例化は考えていないが、外部へ発信することの重要性等も考慮し、要綱として規定し、例規集に載せることなどについて、今後検討したい。

奇島の豊かな海の資源を守るための支援について

問 地域ぐるみで行っている活動は。

教育次 小・中学校では、奇島かきの学習や海ごみ調査、海岸クリーン作戦などの活動を通じて探求的な学習を行っている。

寄所 みつやまクリーンクラブが三郎海岸の周辺、青佐地区の地域住民の方々が青佐鼻海岸周辺の清掃活動を行っている。

問 漁業への支援は。

産建 漁業は基幹産業と捉え、漁業共済保険の個人負担分の全額補助、漁業燃料費の一部補助を行っている。奇島の海産物は市を代表する特産品であり、さまざまな場面においてPRしていきたい。



石井由紀子



災害時における外国人対応について

問 市内在住の外国人の数と今後の推移は。

生環 令和5年2月末現在335人。今後も増加傾向が続く。

問 災害時における支援は。

企財 災害時はメール配信や4か国語に対応しているホームページで避難情報や避難所の開設情報を発信している。また、令和3年度に外国人が避難所へ到着した時の対応訓練を行った。

問 外国人を採用する考えは。

市長 母国語が英語でない外国人が多いことから、デジタル技術を活用した窓口対応を検討していく。

こども基本法成立について

問 令和5年4月1日から施行されるこども基本法の内容は。

健福 この法律では、すべての子どもについて個人として尊重さ

れ、その基本的な権利が保障されること、そして適切に養育されることなどを基本理念としている。

問 施行に伴い、市が取組もうとしていることは。

健福 健康こども福祉課を新設し、これまで以上に支援をしていく。

問 第11条の「子ども施策に対する子ども等の意見の反映」についての施策は。

健福 家庭児童相談員を配置し、子どもの声を聞いている。

教育長 浅口市総合計画を策定する上で中学生にアンケートを取った。また、今後は国の研究報告書を参考に取組む。

市営駐輪場のさらなる利便性の向上について

問 利用人数は。また、駐輪場へ屋根の設置はできないか。

産建 定期利用者が2398人、一時利用者が延べ2万1152人。

市長 駐輪場に屋根の設置要望があることは承知しているが、近隣に民間の屋根付き駐輪場があるので、もう少しばらうく今までどおりでいく。



山下 周吾



浅口市の公共施設について

問 耐震性の確保されていない公共施設は。また耐震改修された施設の耐用年数は。

企財 浅口市鴨方公民館と岡山天文博物館の一部分。耐用年数は一般的に60年から65年。

問 公共施設の細やかな利用状況の把握、分析や安全管理及び保全計画は。

企財 使用人数や目的等を把握した上で許可を出している。利用者の安全確保のため、防火施設・避難誘導施設等の定期的な点検を行い、必要に応じて補修、修繕をしている。

問 平成29年度からの普通交付税の推移は。

企財 平成29年度から令和2年度においては微増微減。令和3年度、4年度は、新型コロナウイルス感染症対策等と国の補正予算の追加交付により増額となっている。

問 コミュニティハウス・コミュニティセンターとは。ある地域とない地域があるのはなぜか。

企財 コミュニティ活動の推進や発展を目的として設置している。旧町時代のものを引き継いでおり、設置基準は不明。現在、120以上の施設があり、地域の活動拠点となっている。

問 民間施設をコミュニティハウス等にして地域の方々が利用できるか。

企財 コミュニティ活動を行う上においては、十分な施設があると考えている。財政が厳しいので、現在ある施設を有効に活用していただきたい。

問 地域に必要な公共施設に求められる機能は。

企財 地域住民が集まり、さまざまな活動ができ、長期間利用できる施設であること。

市長 安心・安全で快適に利用できるように整備、管理、運営を行っている。今後もコミュニティの活性化のため、市民の皆様と話し合いながら必要な支援を積極的に行っていく。



早苗 ネネ



資源物のストックヤードについて

問 金光総合支所の資源物集積所はリサイクル品であふれ返っている。早急に搬入量に見合った対応が必要ではないか。

企支所 搬入量は年々増加傾向にあり、委託業者による収集回収の増加、職員による鴨方リサイクルセンターへの搬入などで対応してきた。この手狭な状況を改善するため、金光総合支所庁舎耐震工事を、令和6年度から7年度にかけて実施する方針になったことから、ストックヤードの拡張工事も併せて実施したい。

第2次浅口市総合計画における資源・エネルギーの循環型社会の形成について

問 リサイクル率を令和2年度の20.3%から令和8年度22%

にするため、どのような取組をしているか。

生環 第2次一般廃棄物処理基本計画の中で、市民の方には繰り返し使えるものの購入、資源回収の協力、ごみ分別の徹底をお願いしている。事業者には、リサイクルしやすい商品の製造、販売、資源化の推進、協力をお願いしている。あわせて、学校や地域団体の実施する集団資源回収に対する助成金の交付、出前講座の実施、情報提供の充実を図っている。

問 大量生産、大量消費の一方通行型経済活動から、循環型経済活動への移行が必要だと思いが市の見解は。

生環 現在は、ペットボトル、お菓子の袋等のプラスチック製容器包装以外のプラスチック製品は燃えるごみとして回収しているが、将来的には全てのプラスチックを資源化物として回収する体制づくりや、指定法人への再商品化の委託の検討を進めている。

市長 多様化する環境問題や社会情勢に対応していくため、市民、事業者、行政が連携、協働し持続可能な循環型社会の実現に向け、取組を進めていく。



定例会を動画で チェックしよう!



スマートフォン・タブレットからの視聴方法



二次元コード

二次元コードを読み込む

ココ! <https://www.city.asakuchi.lg.jp/press/01ka/index.html>

リンク先をクリック

注! カメラアプリで読み込むもの、二次元コード専用アプリで読み込むものなど、機種によって方法は異なります。

かんたん!

ホームページからの視聴方法

インターネットで市議会ホームページを検索

浅口市議会では市民に開かれた議会にご覧になりたい会議名をクリックして

ココ!

- 令和5年5月定例会
- 令和5年12月定例会
- 令和5年3月定例会

市議会ホームページ

「本会議録画中継」から「会議名」をクリック

各議員の一般質問が視聴できます!

お詫びと訂正


前号(No.56)の掲載記事に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

15ページ中段 **誤** 町の名前の由来となったアッケシソウ **正** 町の名前が由来となったアッケシソウ

傍聴へ お越しく下さい

6月定例会
6月6日(火)から

傍聴は、議会に触れることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽にお越しく下さい。会議中、傍聴者はご自由に入退席いただけますので、まず議会事務局で受付を済ませてお入りください。会議の詳しい日程は、5月下旬に議会運営委員会で決定され、ホームページやあさくちメールでお知らせします。



今月の表紙写真

ソフトボール、雪合戦、ダンスなども楽しそうですね。また、3月にはボーイスカウト浅口第2団が第47回山陽新聞桃太郎賞を受賞されました。この賞は積極的に社会貢献している県内小学生の団体をたたえる賞で、1977年に創設されました。おめでとうございます。

4回にわたりスポーツ少年団等の13団体を掲載しました。子どもたちがさまざまな活動に励んでいる様子を知ることができました。

声 の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音訳しています。必要な方は社会福祉協議会へ

☎ 0865-44-7744

あなたの写真 表紙にのせませんか?

表紙に掲載する「あさくちイチ推し写真(風景)」を募集しています。あなたのお気に入りの風景、思い出の風景を送ってください。タイトルや場所の説明等を記載し、写真を添付して、市議会事務局へメールでご応募ください。二次元コードから簡単にメール送信できます。




☎ 0865-44-7010